

リハビリテーション治療学演習

[演習] 第1学年 前期 選択 2単位

《担当者名》 浅野雅子 asanom@hoku-iryu-u.ac.jp 近藤里美、児玉壮志

【概要】

リハビリテーション治療学 特講の講義内容を基盤に、演習を通して自ら設定した治療仮説や研究仮説に関して科学的方法論の検討と理論的考察を行い、精神障害領域における作業療法実践の成果を検証する方法を学習する。具体的には、作業療法介入や心理実験的手法等を用いて得られたデータの解析を行う過程を通し、精神障害領域における作業療法の治療構造の解明や、対象者の個人的背景、環境的要因をふまえた治療や援助に必要な知識、技術について検証する。

【学修目標】

一般目標：自身の専門に関連する研究分野の動向を理解し説明することができる
行動目標：自身の専門に関連する研究分野における課題を検証することができる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	講義の概要、学習目標・内容、スケジュール、学習方法の説明を行う。	浅野雅子 近藤里美 児玉壮志
2～15		研究方法を吟味しデータの意味や分析方法の適切性や限界、そこから導かれる結果等を考察することにより、自らの研究テーマにふさわしい研究方法を検討する。	浅野雅子 近藤里美 児玉壮志

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

主として講義ヘディスカッションへの参加状況などにより総合的に評価する（100%）

【教科書】

なし

【参考書】

必要に応じて講義時に適宜資料を配布、紹介する

【学修の準備】

参考文献以外にも関連分野の文献等を各自調査し学習すること（予習80分、復習80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

リハビリテーション領域において、学際的視点を活かしながら、先進的かつ独創的な研究を自律的に遂行するための高度な学識と研究能力を身につけているというリハビリテーション科学専攻博士後期課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

浅野雅子（作業療法士・音楽療法士） 児玉壮志（作業療法士）